

令和4年度 愛心こども園 事業実績報告

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

事業の総括

はじめに

令和2年度4月、愛心保育園から幼保連携型認定こども園、愛心こども園へと名称を変更し、心も新たにスタートしてから本当に色々な事がございました。その中でも令和2年度から4年度にかけてはコロナが猛威を振るい、子どもたちや保護者、そして職員といくつもの困難にぶつかりながらも共に支え合い、力を併せて1年1年を乗り越えて参りました。玉重福祉会役員の皆様のお力添えもいただきながらお陰様で4年目を迎える事が出来ました事を大変ありがたく、心から感謝の気持ちで受け止めております。

又、令和4年度におきましては法人創立40周年を迎え、園庭に記念の植樹を行い、ささやかな記念品を保護者の皆様や役職員、地域の関係者の皆様へお贈りする事が出来ました。40年という歴史の積み重ねの尊さをしっかりと胸に刻み、保育界の厳しい時代の流れに対応していけるよう、組織として柔軟な姿勢を持ちながらも教育・保育の基本をしっかりと踏まえ、今後とも誠心誠意、職員一丸となって歩んで参りたいと思います。

さて、改めて令和4年度を振り返ってみますと、4～9月迄の期間は園児、職員とも多数のコロナ感染者が出ました。その度に、保護者の皆様へは登園自粛のお願いやPCR検査等にもご協力を頂き、支えていただきました。又、運動会などの大きな行事も軒並み延期となり、職員と何度も話し合いを重ねながら、日程や会場借用の調整に奔走致しました。

その甲斐もあってか、その後はコロナの感染状況も落ち着き、当初7月に予定しておりました運動会を9月に開催する事が出来ました。ご家族様2名迄という制限はございましたが、久しぶりに那覇市民体育館メインアリーナの大きな会場をお借りして子どもたちや保護者の皆様の沢山のはじける笑顔を見ることができ、職員共々大きな喜びを感じる事が出来ました。

その後も仲井真小学校体育館をお借りしての生活発表会やこども園内での卒園式など、同じくご家族2名様迄の参加で開催し、喜びや感動に包まれた大きな行事を無事に終える事が出来ました事を心より深く感謝申し上げ、令和4年度のご報告とさせていただきます。

令和4年度 第2 愛心こども園 事業実績報告

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

事業の総括

令和4年度も「新型コロナウイルス感染症」の対応に配慮しながらの1年になりましたが、園生活や教育保育内容、各行事の面でもいろいろと工夫しながら実施することができました。また4～5歳児の子ども達や職員は、マスク着用も定着し感染予防対策もしっかり行いながら活動することができましたが、慣れてきたとはいえ表情や声が伝わりづらいマスク着用について、3月中旬には個人の判断に任せるという国の決定がなされたことは大きな前進であり、今後の園生活において少しずつコロナ前の日常が戻ってくることを期待しております。

【教育・保育について】

そのような中でも玉重福祉会の基本理念である「思いやり保育」～手伝う・励ます・ありがとう～の心を基本に据えて、「保育は愛なり 愛は力なり」という保育理念のもと、100名の2号、3号認定児と13名の1号認定児の子どもたちを迎え、地域の子育てセンターとして、常に子どもや保護者の視点に立った、温もりのある保育実践を職員一同、精一杯行ってまいりました。

そして、今年度も当園の特色である漢字遊び、お習字、英語で遊ぼう、食育活動及び、毎月の行事等、工夫を重ねながら実施したことで、多くの保護者様にも喜んで頂きました。

【職員の資質向上について】

各研修においては、昨年に続きオンライン研修が主流になり、職員は園内で学びを深めることができました。キャリアパスの研修は機会に恵まれず受講することができませんでしたが、職員の処遇改善も定着してきている中、各リーダーをはじめ職員が専門性を発揮しながら、子ども達のより良い成長のために、保護者支援にも奮闘し、保育教諭という高い使命感のもと、日々の教育保育に力を尽くすことができました。

【チューター制度・その他について】

また、取り組みを始めてから9年目となる“チューター制度”については、職員マネジメントリーダーの役割を担う職員が、パートナー決定や時間調整等を行い、今年度も年3回の取り組みを実施することができました。

更にその他、安全管理、環境整備についても事業計画通り進めることができ、各職員で分担し丁寧に行うことができましたことをありがたく思っております。

【おわりに】

令和4年度も地域に根差した児童福祉施設としての使命を果たせるよう、職員一同福祉の心をもって、子どもたちとそのご家族のより一層の幸せを願って、日々努めてまいりました。おかげ様で無事に令和4年度を終えることができましたことに、心より感謝申し上げます、事業実績報告と致します。

令和4年度 仲井真こども園事業実績報告

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

事業の総括

開園5年目を迎えた仲井真こども園は、4月1日時点での子どもの受け入れ人数が、4歳児23名、5歳児54名の合計77名と5年間で最も少ない園児数でスタートしました。そのため、5歳児クラスはこれまでの3クラスから2クラスに減らし、職員につきましても前年度より3名少ない13名の職員にて令和4年度の教育保育運営を実施しました。

令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症も少し落ち着きをみせたことで、入園式は3年ぶりに遊戯室にて全体で行いました。5月に予定していた地域による「国場川こいのぼりまつり」は中止となりましたが、子どもたちも一緒に手作りのこいのぼりを制作しました。「春の遠足」はこれまでと趣向を変え、地域を散策しながらヤギと触れ合ったり、公園巡りをして楽しむことができました。

9月には、3年ぶりに祖父母の「お招き会」を行い大好きなおじいちゃんやおばあちゃんと一緒にダンスや体操をして楽しく触れ合うことができました。また、恒例の「秋まつり」も行い、子どもたち自身で考え準備してきた食べ物屋さんやゲーム屋さん等、いろいろな出店を各クラスに配置し楽しく遊ぶことができました。

11月には、こども園の園庭で「ミニ運動会」を行い、久しぶりに保護者も招いて盛り上がりました。

このように、令和4年度も、「新型コロナウイルス感染予防対策」を施しながら、出来る範囲で工夫し行事等を実施してきました。それでも保護者の皆様に参加して頂く保育参観やお楽しみ会等への参加ができなかったことで、少し物足りなさもあったと思いますが、3月の「卒園式」には、56名の年長児が晴れやかに卒園を迎えることができ、一人ひとりの成長の喜びを感じながら、令和4年度を締めくくることができました。

そのようなことで、当玉重福祉会が仲井真こども園を運営する最後の1年も職員一同が、自分の役割をしっかりと担い、お互いに協力し合えたことで乗り越えられたと思います。職員にはこれまでの頑張りに深く感謝しつつ、愛心・第2愛心に異動後も仲井真こども園で学んだ幼児教育・保育を活かしながら頑張ってもらいたいと思います。

最後に、令和5年度より仲井真こども園を運営するポプラ福祉会への引き継ぎも無事に終え、4月より「社会福祉法人ポプラ福祉会 仲井真こども園」としてスタートしたことを報告し、令和4年度の事業実績報告といたします。